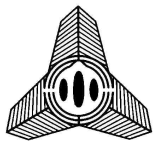


学校教育目標 『心はずませ 夢にむかって』

みどり かぜ



# 緑の風

～豊かな心・確かな学力～

潟上市立天王小学校  
学校報 第21号



平成30年2月28日

## 143周年・開校記念日



【地域の名人さんから、3年生たちが「フラワーアレンジメント」を教わりました：2/22】

2月も終わりを迎えました。明日からは弥生3月です。まだ冷え込みは続きますが、日中の日差しからは少しずつ春の息吹を感じるようになりました。

さて、3月2日は本校の開校記念日です。143周年を迎えることとなります。そこで、創立当時からの変遷を学校沿革史や天王町誌からたどってみました。

明治5(1872)年、明治政府の「学制」に基づいて、明治8年3月2日に創立。初めは八坂神社の神楽殿を借りて授業をしたのち、天王本郷の愛宕神社の裏に校舎を建て、「東湖学校」と命名されました。その後、明治時代に二田分教場や羽立分教場などが開設され、独立や分校の創設が続き、高等科が併設されました。また、大正時代に入り分校等が併合し、大正14年6月に移転改築され、「羽立北野尋常小学校」と改称されました。

昭和時代に入り、昭和10年3月には羽立北野尋常小学校の校舎が全焼したことから、現在の「児玉地区」に校舎が新築され、昭和11年8月21日に「天王尋常高等小学校」と改称されました。また、昭和16年4月には当時の学制改革により「天王国民学校」と改称され、その後太平洋戦争を経て昭和22年4月に六三制実施のため『天王小学校』と改称され現在に至っています。

現在の校舎（鉄筋三階校舎）は、昭和47年10月19日に竣工式が行われ、その後、児童数の増加に伴い昭和58年12月には、現在の4年生の教室がある棟が増築されました。そして平成に入り、平成15年から2年間、大規模改修工事が行われ、現在に至っています。こうして、様々な時代の変遷を経て、天王小の歴史と伝統が築き上げられてきたこととなります。（校長 佐藤博英）